

平成13年3月期決算説明会

平成13年6月1日



内容

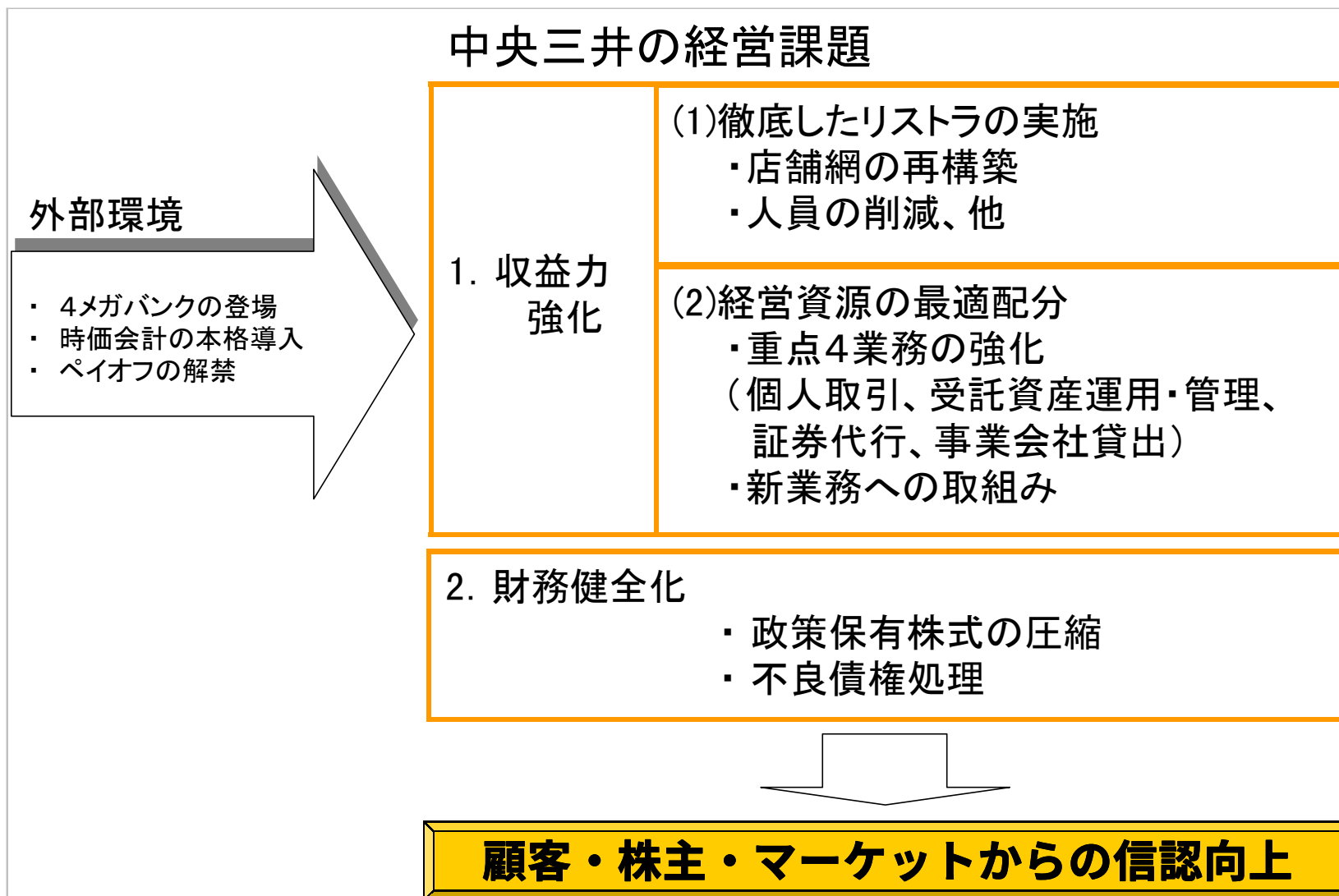
I 経営課題への取組み 2P～

1 収益力強化 3P～

2 財務健全化 11P～

II H13/3期決算概要 13P～

I 経営課題への取り組み



1 収益力強化

(1) リストラ

人員の削減

	H11/3期末	H12/3期末	H13/3期末	H14/3期末	H15/3期末	H16/3期末	H17/3期末
実績	8,381	7,852	7,362				
現計画			7,500	7,000	6,500	6,000	5,500
健全化計画			8,000	7,700	7,400	7,100	6,800

- ・H11・H12年度、年間500人規模の削減実績
- ・健全化計画や追加削減計画を上回る実績
- ・今後も年間500人ずつ削減する計画

店舗の削減

	H12/4	H13/3	削減累計*1	H13/9	削減累計	H15/3	削減累計
通常店舗	166	149	17	98	41	91	48
サテライト店舗				27		22	5
合計	166	149	17	125	41	113	53
超ミニ店舗	9	12 ^{*2}				30程度	

- ・合併1年で17店舗の実質削減達成
- ・H13/上期で大半が完了

*1 近隣店舗間で同一ビル内に移転することによる実質統廃合効果を含む

*2 個人取引上重要な地域に新たに3店舗開設

経費の削減

	A	B	C	B-A	B-C
	H12/3期	H13/3期	H13/3期健全化	前年比	健全化計画比
1 経費	1,900	1,784	2,163	-116	-379
2 うち人件費	870	777	876	-93	-99
3 うち物件費	960	928	1,212	-31	-283
4 OHR*1	54%	52%	61%	-2%	-9%

合併初年度より、
経費の大幅削減を実現

*1 経費÷信託勘定償却前業務粗利益

サマリー表

項 目		4/1合併時	H12年度	H13年度上期
経営体制	執行役員制度の導入	経営意思決定と業務執行の機能整理	完了	
	取締役数の削減	両社合算の44名から18名に	株主総会后16人	株主総会后12人となる予定
	監査役数の削減	両社合算の10名でスタート	株主総会后6人	株主総会后5人となる予定
本部組織	組織のスリム化	両社合算の68部から45部に	38部まで削減(年金営業各部除く)	現在37部、追加削減を検討
人員	人員の削減	→	健全化計画を638人上回る削減ペース	年間500人ずつ削減へ
店舗	店舗のスリム化	→	17店舗削減 (店舗同居方式による実質的な統廃合ベース)	24店舗削減
人事制度	人事制度の1本化	→	1月に新人事制度に移行	完了
システム		国際系、証券・受託資産管理の統合	1月に証券代行システムの統合完了	勘定系統合開始 H13/5に前倒し
業績評価		→	12/下期から1本化	完了

勘定系システムの早期統合

当初の統合予定時期 : 平成14年5月



統合の**早期化** : **平成13年5月より統合を順次開始**
(平成14年1月に統合完了予定)

早期化の目的 : システム統合による顧客利便性の向上

店舗統廃合の早期実現

店舗運営の効率化

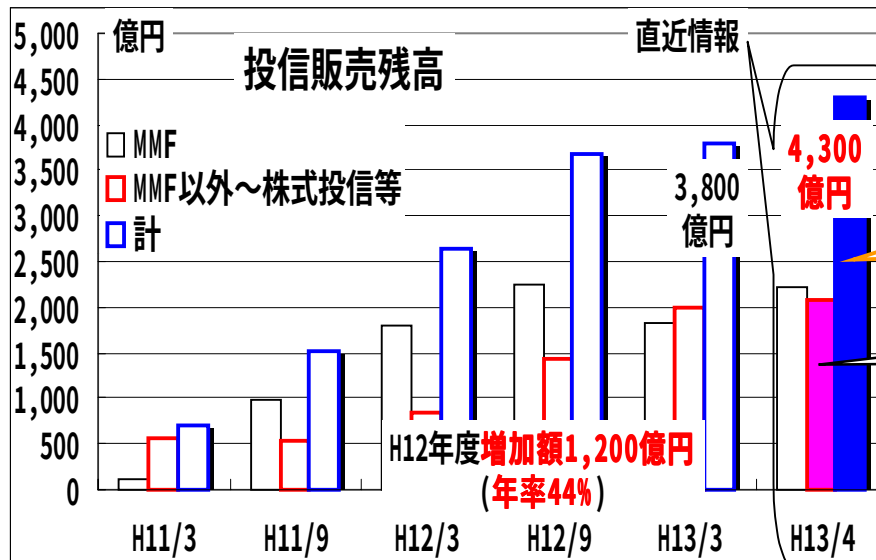
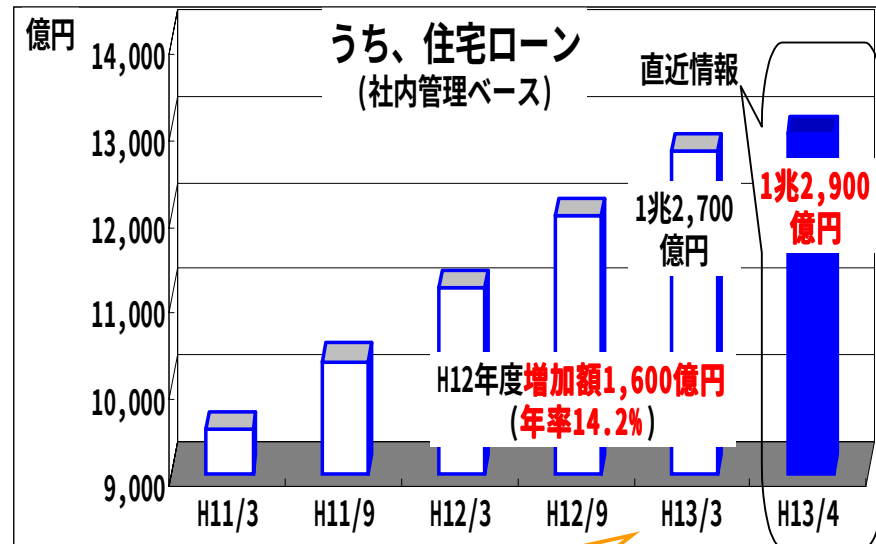
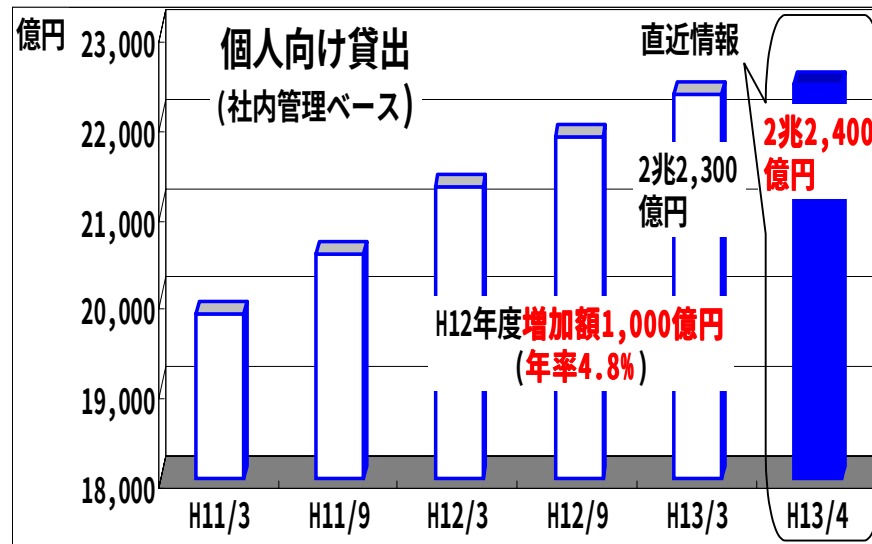
統合後システムの特徴 : 新端末の導入

印鑑ネットワーク

ハブシステム

統合後、イメージ処理、24時間/365日稼動等
事務効率化への新機能の導入に着手

(2)重点業務の強化 ①個人取引業務



都銀・信託中増加率**No.1**

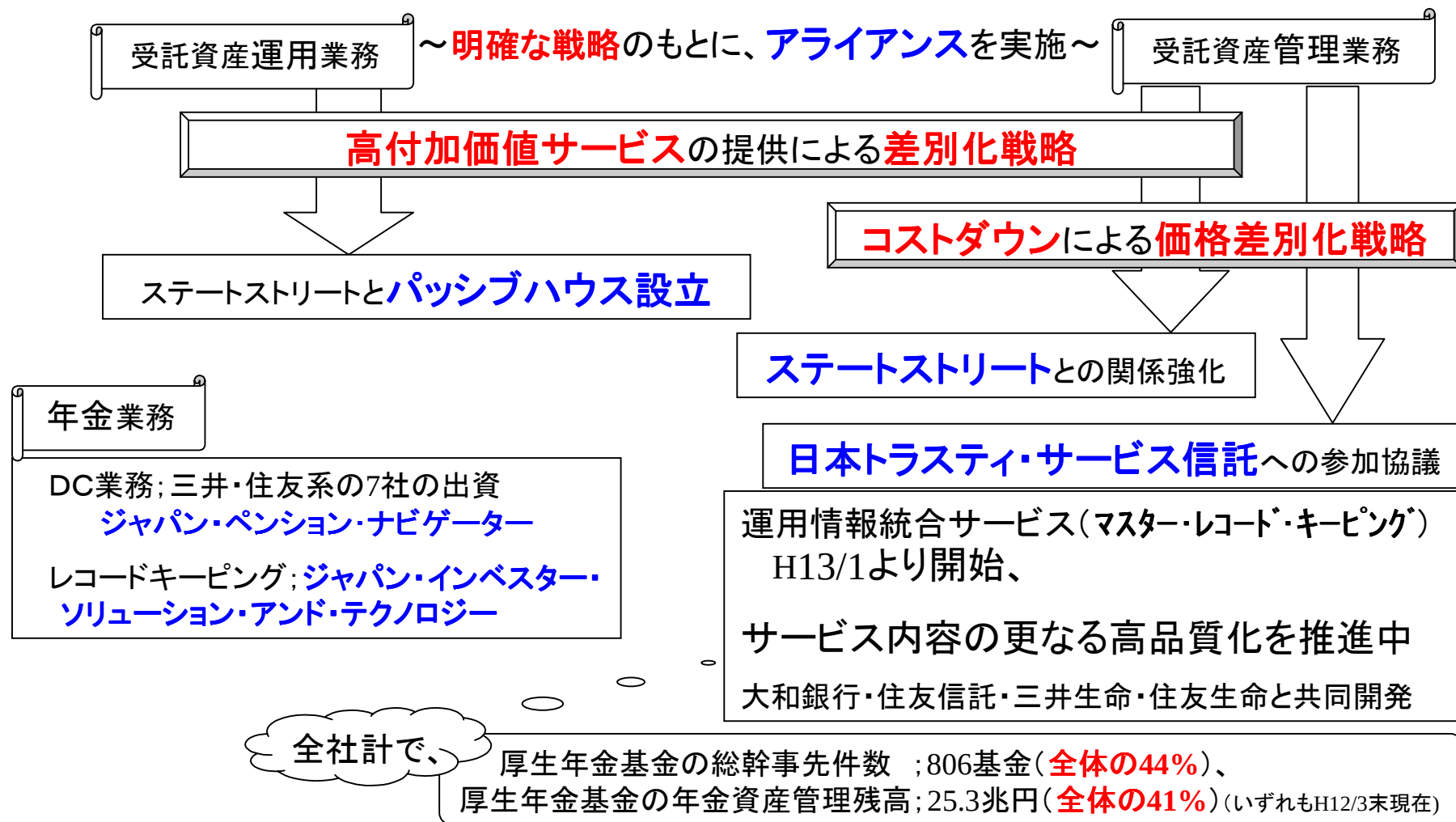
(当社除く全体の平均増加率5.1%)

投信販売はH13/4末時点で、
都銀・信託中残高**No.5**(信託銀行中残高**No.1**)

MMF以外(株投等)投信販売が、着実に増加

H13/3より、富裕層向け会員制優遇サービス「ベスト
クオリティ」取扱開始(申込件数はH13/4/末時点で
2,000件超)

②受託資産運用・管理業務



受託資産運用残高

H13/3期末		単位: 兆円	
厚生年金基金	①	4.5	(0.1)
適格年金	②	1.6	(0.1)
その他	①	9.4	(-0.7)
合 計	①	15.5	(-0.5)

○内は信託銀行内順位
()内は12/3比

H12年下期の企業年金
受託額は、増加額・増加
率とも同業No.2

受託資産管理残高

H13/3期末		単位: 兆円	
企業年金	②	6.1	(0.2)
年金特金	③	3.9	(0.1)
投資信託	③	7.8	(0.3)
その他	①	16.6	(-0.3)
合 計	①	34.4	(0.3)

合併当初にはシェア調整の影響あったもののそ
の後盛り返し、引き続き信託銀行No.1を維持

H12年度 同業パフォーマンス比較(年金)

(1) ファンド全体^{*1}

社名	H12年度順位 ^{*2}	H10~12年度通期順位
当 社	1	1 *3
A信託	6	7
B信託	2	6
C信託	3	4
D信託	4	2
E信託	7	3
F信託	5	5

(2) パッシブファンド (年金合同口)

	トラッキングエラー (過去1年)
国内株式	10bp
国内債券	7bp
外国株式	16bp
外国債券	10bp

パッシブ運用のトラッキングエ
ラーでも国内有数の実績

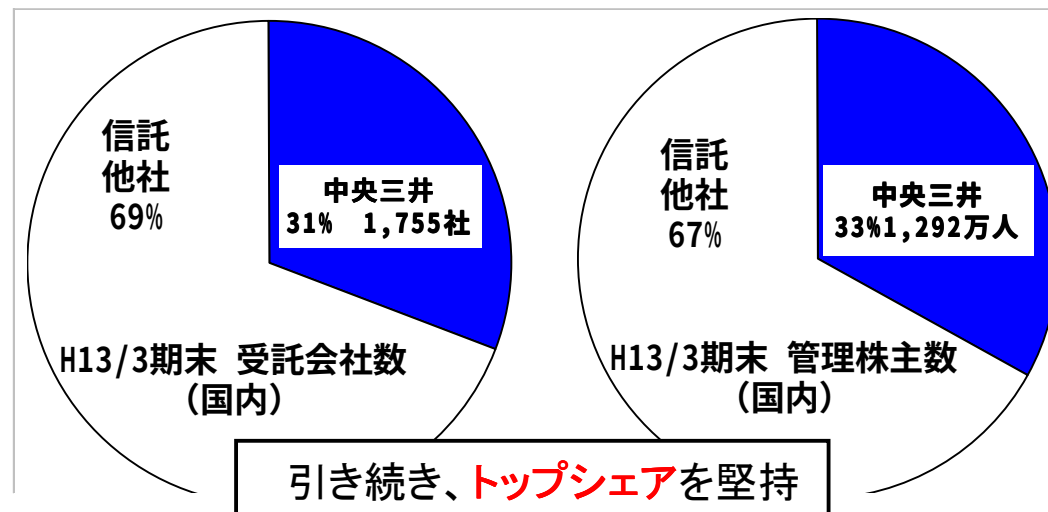
ファンド全体の評価でNo.1

*1 いわゆる標準型等、資産配分の裁量が実質的に受託機関にあるファンド

*2 当社サンプル調査による順位

*3 10年度、11年度の当社パフォーマンスは旧中央・旧三井の平均値を使用して算出

③証券代行業務



H13/1 証券代行システムの統合完了

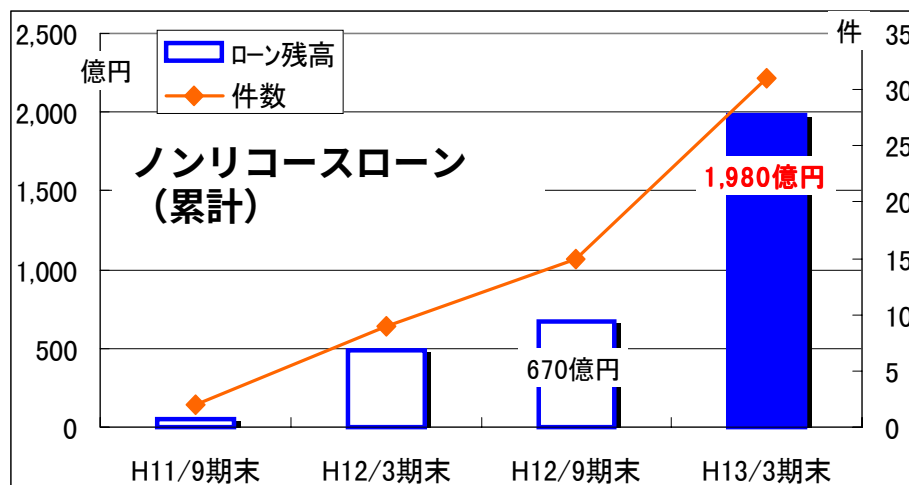
H13/9 証券代行事務センターの完全統合を予定

(立体自動倉庫を導入し、更なる事務効率化を推進)

H14にも具体化が見込まれる株主総会電子化への対応を準備中

H12/11に解禁された不動産投信(J-REIT)による**会社型ファンドの上場**など**市場拡大**が見込まれる中、“業界のリーディングカンパニー”として更なる地位向上を目指す。

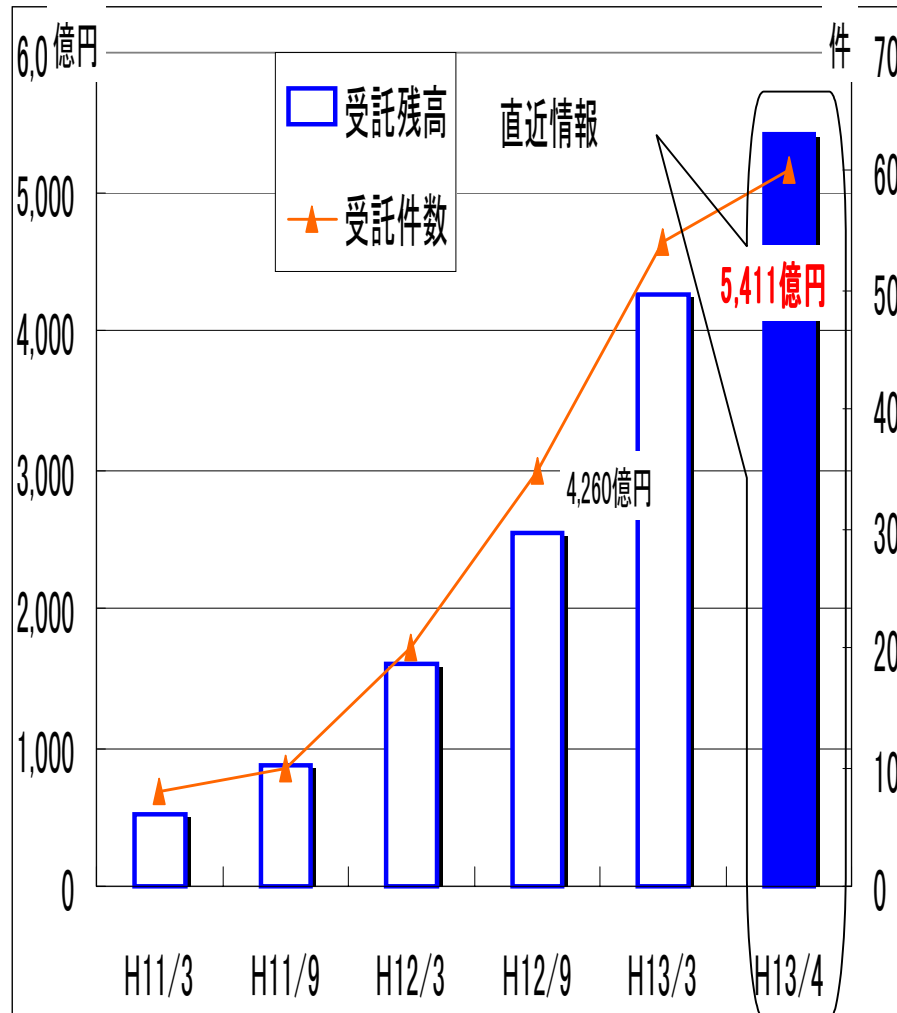
④事業会社貸出業務



～シンジケートローン等への取組み～
シンジケートローン、債権流動化等を所管する
金融開発部を設置
企業向けソリューションビジネスの充実化

新業務への取組み～ J-REIT

流動化関連受託額・件数



多面的な信託機能の提供

(証券代行・資産保管等)

有力な大手デベロッパー、商社、証券会社等とのパイプ

社内の体制整備実施済み

営業面～受託・アレンジャー機能強化

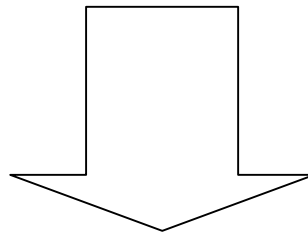
～年金基金等投資家向け販売強化

管理面～ISOの取得や管理システムの高度化に着手

～評価手法の研究・不動産インデックスの検討

2 財務健全化 政策投資株式の圧縮

H12年度、
合併会計や売切り(約1,500億円)等により、
株式簿価の圧縮を実施。



極力早期に、売切り等により合併時の約半分(1兆円)
を下回る株式簿価とする計画。

不良債権処理

不良債権合計は減少

- ・金融再生法基準 合計8,440億円(前期比－322億円)
- ・リスク管理債権 合計8,398億円(前期比－290億円)

不良債権処理 ～ 1,810億円(前期比－618億円)

- ・最終処理の促進 → 破産更生等債権、危険債権が減少(前期比－2,551億円)

景気低迷の長期化と査定のさらなる厳格化

- ・要管理債権の増加 (前期比2,228億円)

Ⅱ H13/3期決算概要 業務純益

		億円		
【単体】		A	B	C(B-A)
		H12/3期	H13/3期	増減
1	信託勘定償却前業務粗利益	3,515	3,428	-87
	<業務粗利益>	<2,902>	<3,050>	<148>
	信託報酬	1,264	1,240	-23
	貸信・合同償却前報酬	1,232	1,016	-216
2	信託勘定不良債権処理(△)	612	377	-235
	資金利益	990	936	-54
	国内資金利益	921	843	-78
	国際資金利益	69	93	24
	役務取引等利益	413	362	-50
	特定取引利益	-16	8	25
	その他業務利益	250	502	251
	国債等債券関係損益	37	202	165
3	経費	1,900	1,784	-116
4	一般貸倒引当金繰入金額	53	-7	-60
5(1-3-4)	信託勘定償却前業務純益	1,561	1,651	89
6(5-2)	業務純益	949	1,273	324
7(4+5)	実勢業務純益	1,615	1,644	29

	A	B	C(B-A)
	H12/3期	H13/3期	増減
1 売却益	230	212	-18
2 償還益	43	5	-37
3 売却損	113	4	-109
4 償還損	121	1	-120
5 償却損	0	9	8
6 債券5勘定戻	37	202	165

最終利益

【単体】		億円				
	A	B	C(B-A)	D	E(B-D)	
	H12/3期	H13/3期	増減	H13/3期 健全化計画	H13/3期 健全化対比	
1 信託勘定償却前業務純益	1,561	1,651	89	1,397	254	
2 業務純益	949	1,273	324			
3 臨時損益	611	-725	-1,337			
4 株式等損益	2,748	586	-2,162			
5 銀行勘定不良債権処理 (△)	1,816	1,433	-383			
6 経常利益	1,541	538	-1,003	441	97	
7 特別損益	-347	-69	278			
8 税引前当期利益	1,193	469	-724			
9 法人税、住民税及び事業税	167	38	-129			
10 法人税等調整額	529	191	-338			
11 当期利益	496	239	-256	237	2	

	A	B	C(B-A)
	H12/3期	H13/3期	増減
1 売却益	2,980	876	-2,103
2 売却損	132	117	-14
3 償却損	99	172	72
4 株式3勘定戻	2,748	586	-2,162

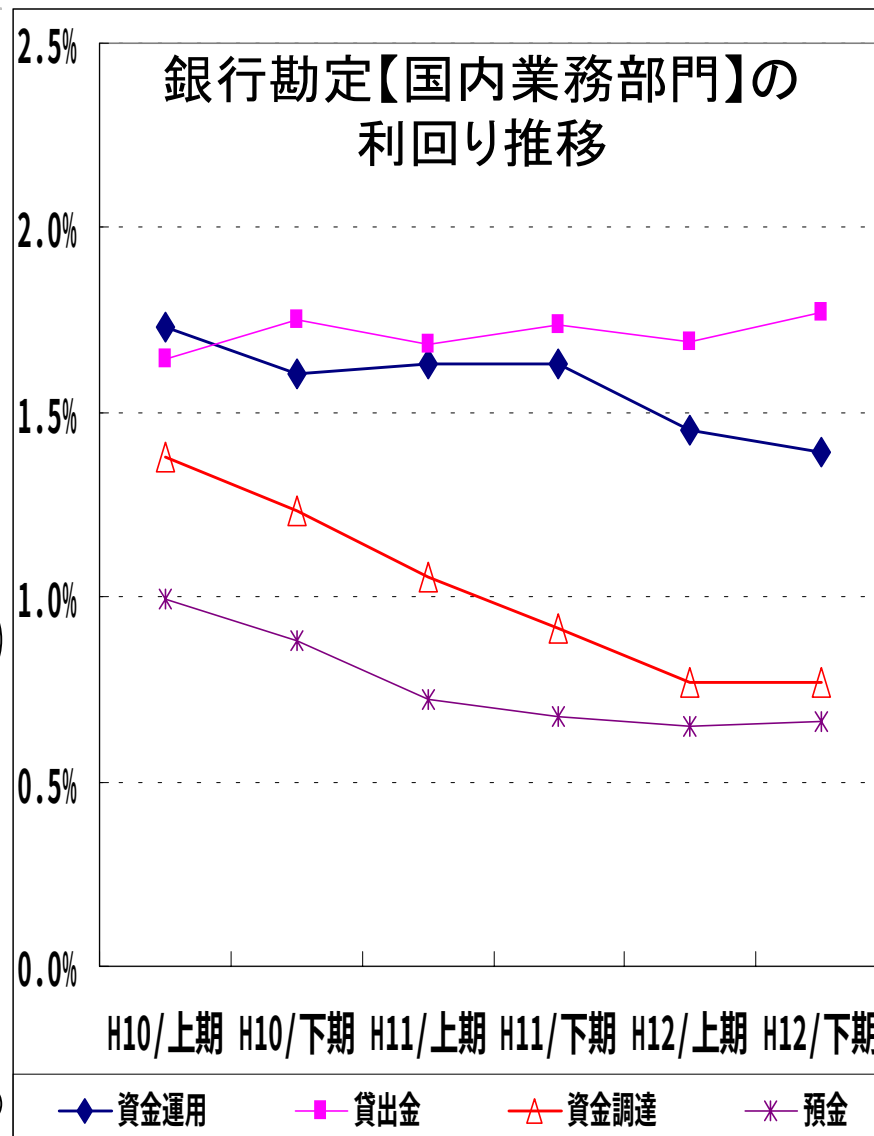
利回り・利鞘

銀行勘定【国内業務部門】

	A H12/3期	B H13/3期	C(B-A) 増減
1 資金運用利回り	1.63%	1.42%	-0.21%
2 貸出金利回り	1.71%	1.73%	0.02%
3 有価証券利回り	1.86%	1.15%	-0.71%
4 資金調達利回り	0.98%	0.76%	-0.22%
5 預金利回り	0.69%	0.66%	-0.03%
6 総資金利鞘	0.65%	0.67%	0.01%
7 預貸金利鞘	1.02%	1.07%	0.05%

3 勘定（銀行勘定【国内業務部門】 + 貸信 + 合同）

	H12/3期	H13/3期	増減
8 資金運用利回り	1.65%	1.46%	-0.19%
9 資金調達利回り	0.74%	0.56%	-0.18%
10 総資金利鞘	0.91%	0.90%	-0.01%



有価証券の状況

評価損益

		H12/9期末					H13/3期末					億円
その他有価証券		簿価	時価	含み損益	含み益	含み損	簿価	時価	含み損益	含み益	含み損	
1	株式	19,672	a 19,413	-259	1,761	2,021	18,629	a 17,557	-1,072	1,292	2,364	
	債券	16,820	16,851	31	64	33	14,987	15,131	143	155	12	
	その他	6,336	5,991	-345	36	382	6,326	5,755	-571	38	610	
	合計	42,830	42,256	-573	1,863	2,437	39,944	38,444	-1,500	1,486	2,987	
2	満期保有目的	1,898	1,929	30	47	17	1,480	1,534	54	61	7	
1+2	合計	44,729	44,186	-543	1,910	2,454	41,425	39,978	-1,446	1,548	2,994	

変化率 *1 -8% 同期間日経平均変化率 -17% 同期間Topix変化率 -13%

*1 a'/a-1、H12/下期売却損益（250億円）を加味

当社株式ポートフォリオの時価変化率は、株価指標の変化率と異なる。

変化率の違いは、当社株式構成と株式相場全体の構成との違いによる。

ご参考

	変化率 加重平均	H12/9期末時点			比較 b-a	H13/3期末時点			比較 b-a
		東証時価総額 構成率 a	当社株式 構成率 b			東証時価総額 構成率 a	当社株式 構成率 b		
時価総額が大きく下落した業種計 *1	-24%	58%	33%		-25%	50%	27%		-22%
時価総額が下落した業種計 *2	-5%	15%	20%		4%	19%	21%		2%
時価総額が上昇した業種計 *3	8%	27%	47%		20%	31%	51%		20%

*1 H12年度下期の東証時価総額全体の変化率-13%を下回る変化率（上回る下落率）であった業種の合計

*2 時価総額の変化率が、0 ～ -13% であった業種の合計 *3 時価総額が上昇した業種の合計

不良債権処理と引当金残高

億円

不良債権処理

【単体】

		A H12/3期	B H13/3期	C(B-A) 増減
1	貸出金償却	832	893	60
2		472	288	-183
3	個別貸倒引当金繰入額	591	204	-387
4	共同債権買取機構	17	9	-7
5	売却損	88	82	-6
6	バルクセール売却損	177	-	-177
7		31	4	-26
8	海外民間向け売却損	12	40	27
9	累積債務国向け売却損	0	0	0
10	債権売却損失引当金繰入額	80	14	-66
11	特定海外債権引当	-29	-25	4
12	その他	133	295	161
13		21	2	-18
14		1,816	1,433	-383
15		612	377	-235
16	合計	2,429	1,810	-618

17	一般貸倒引当金繰入	53	-7	-60
18	16 + 17	2,482	1,803	-678
19	バルクセール 実施元本	913	1,016	103

引当金残高

【単体】

引当金残高		A	B	C(B-A)
【単体】		H12/3期末	H13/3期末	増減
1	一般貸倒引当金	805	798	-7
2	個別貸倒引当金	1,408	537	-870
3	特定海外債権引当勘定	52	27	-24
4	債権売却損失引当金	158	87	-71
5	小計	2,424	1,451	-972
6	特別留保金	358	308	-49
7	債権償却準備金	13	11	-1
8	小計	371	320	-51
9	合計	2,796	1,771	-1,024
10	金融再生法基準に対する 保全率<％>	89.5	77.7	-11.8
11	リスク管理債権に対する 保全率<％>	89.9	77.6	-12.3

不良債権の最終処理を積極的に進めた
結果、保全率は低下。

資産査定と一般貸倒引当金の状況

【銀信合算】					
					億円
【単体】	IV	III	II	I	対象資産簿価
1 H13/3期末	0 <0.0%>	237 <0.2%>	16,448 <14.5%>	96,713 <85.3%>	113,399
2 H12/3期末	0 <0.0%>	627 <0.5%>	13,523 <11.1%>	107,185 <88.3%>	121,351
3 増減(1-2)	- <0.0%>	-390 <-0.3%>	2,925 <3.4%>	-10,472 <-3.0%>	-7,952

Ⅲ債権は減少したものの、Ⅱ債権は増加。

一般貸倒引当金の状況

										億円
【単体】										
		A H12/3期末			B H13/3期末			C(B-A) 増減		
		対象債権残高	引当金残高	引当率	対象債権残高	引当金残高	引当率	対象債権残高	引当金残高	引当率
1	要注意先	18,588	725	3.90%	18,626	690	3.71%	38	-34	-0.19%
2	うち、要管理先	2,459	260	10.58%	4,523	400	8.84%	2,064	139	-1.73%
3	うち、アソカバ-部分	1,636	245	15.00%	2,667	400	15.00%	1,030	154	0.00%
4	その他先	16,128	465	2.89%	14,102	290	2.06%	-2,025	-174	-0.82%
5	正常先	59,519	77	0.13%	60,894	104	0.17%	1,375	26	0.04%
6	小 計	78,107	802	1.03%	79,521	794	1.00%	1,413	-7	-0.03%
7	その他	2,792	3	0.11%	2,069	3	0.19%	-723	0	0.08%
8	合 計	80,900	805	1.00%	81,590	798	0.98%	690	-7	-0.02%

要管理先の残高が増加の一方、非要管理要注意先における残高は減少。

不良債権①金融再生法基準

【単体】	億円														
	A H12/3期末					B H12/9期末					C H13/3期末				
	残高	保 全 額	貸倒 引当金	担保・ 保証	保全率(%)	残高	保 全 額	貸倒 引当金	担保・ 保証	保全率(%)	残高	保 全 額	貸倒 引当金	担保・ 保証	保全率(%)
1 銀行勘定	1,270	1,270	1	1,269	100.0	2,312	2,312	215	2,096	100.0	1,286	1,286	45	1,240	100.0
2 信託勘定	508			508		553			553		606			606	
3 破産更生等債権	1,779			1,777		2,865			2,649		1,893			1,847	
4 銀行勘定	3,959	3,402	1,406	1,996	85.9	2,738	2,522	890	1,632	92.1	1,435	1,242	491	750	86.5
5 信託勘定	547			498		457			416		405			362	
6 危険債権	4,506			2,494		3,195			2,048		1,841			1,112	
7 銀行勘定	2,273	949	258	690	41.7	2,138	696	274	421	32.6	4,090	1,879	390	1,488	45.9
8 信託勘定	202			91		283			173		615			336	
9 要管理債権	2,476			781		2,422			595		4,705			1,824	
10 銀行勘定	7,503	6,381	2,424	3,956	85.0	7,189	6,123	1,972	4,150	85.2	6,812	4,931	1,451	3,479	72.4
11 信託勘定	1,258	1,469	371	1,097	116.7	1,294	1,492	349	1,143	115.3	1,628	1,624	320	1,304	99.8
12 合 計	8,762	7,850	2,796	5,054	89.5	8,483	7,616	2,322	5,293	89.8	8,440	6,556	1,771	4,784	77.7

直接減額；(H12/3期末) 16,177億円、(H12/9期末) 6,721億円、(H13/3期末) 6,632億円実施後

		a	b	c	c-a	c-b
		H12/3期末	H12/9期末	H13/3期末	増減	増減
13	正常債権	112,589	110,174	104,959	-7,630	-5,215
14	総与信	121,351	118,658	113,399	-7,952	-5,258
15	不良債権比率	7.22%	7.15%	7.44%	0.22%	0.29%

H12下期、不良債権処理の最終処理を積極的に進めた結果、破産更生債権と危険債権の合計残高は減少。

<ご参考>H12年度	当社	当社除く 大手15行
金融再生法基準増減率	-4%	1%

	A	B	C	D (A+B+C)	オフバランス化の内訳	
	H12/9期末	オフバランス化	新規発生	H13/3期末	清算型処理	-620
					再建型処理	-606
					債権流動化	-146
					直接償却	168
					その他*1	-2,006
破産更生等債権	2,865	-1,063	91	1,893		
危険債権	3,195	-2,146	793	1,841		
合計	6,060	-3,210	884	3,735		

***1 回収、債務者の業況改善**

不良債権②リスク管理債権

【単体】		A H12/3期末	B H13/3期末	C(B-A) 増減
1	銀行勘定	466	586	120
2	信託勘定	250	301	50
3	破綻先	716	887	171
4	銀行勘定	4,691	2,101	-2,589
5	信託勘定	813	759	-54
6	延滞	5,504	2,861	-2,643
7	銀行勘定	43	21	-22
8	信託勘定	79	21	-57
9	3ヶ月以上延滞	122	43	-79
10	銀行勘定	2,229	4,061	1,831
11	信託勘定	114	544	430
12	貸出条件緩和	2,344	4,605	2,261
13	銀行勘定	7,430	6,771	-659
14	信託勘定	1,258	1,626	368
15	合計	8,688	8,398	-290

直接減額；(H12/3期末)6,030億円、(H13/3期末)6,618億円実施後

億円

【単体】		A H12/3期末	B H13/3期末	C(B-A) 増減
1	銀信計	8,688	8,398	-290
2	貸出金残高	116,088	108,729	-7,359
3	比率	7.48%	7.72%	0.24%

資金需要の低迷による正常先の貸出残高の減少により、不良債権比率は僅かながら上昇。

【連結】		A H12/3期末	B H13/3期末	C(B-A) 増減
4	銀行勘定	7,551	6,787	-764
5	信託勘定	1,258	1,626	368
6	合計	8,810	8,414	-395

連単差は僅少。

連単差

6 - 1	121	16	-105
-------	-----	----	------

<ご参考>H12年度		当社	当社除く 大手15行
リスク管理債権増減率		-3%	0%

正常債権の質

厳格な案件審査の実施

正常貸出金の業種別残高推移

リスク管理債権*2	区分(リスク管理債権残高全体に占める割合から区分)	A 当社除く大手15行計				B 当社				C(B-A)構成率比較		
		正常貸出金*1 単位:兆円				正常貸出金* 単位:億円						
		H12/3期末	H13/3期末	比較	増減率	H12/3期末	H13/3期末	比較	増減率	H12/3期末	H13/3期末	比較
75.3%	リスクの相対的に高い業種<構成率>	112.1	109.4	-2.7	-2.5%	38,853	34,654	-4,198	-10.8%			
		44.6%	44.0%	-0.6%		36.6%	34.7%	-1.9%		-8.0%	-9.3%	-1.3%
24.7%	リスクの相対的に低い業種<構成率>	139.3	139.1	-0.1	-0.1%	67,442	65,272	-2,169	-3.2%			
		55.4%	56.0%	0.6%		63.4%	65.3%	1.9%		8.0%	9.3%	1.3%

*1 信託勘定含む。国内店ベース。全貸出ーリスク管理債権

*2 大手16行全体の合計。リスク管理債権全体に占める割合

出所：各銀行資料

「リスクの相対的に高い業種」に対する正常貸出金の割合は、他社比低い。

自己資本比率、退職給付債務、ROE

【連結】	億円	
	12/04/01	13/03/31
1 Tier I 計	7,583	7,736
2 Tier II 計	6,231	5,945
3 自己資本合計	13,789	13,657
4 リスクアセット	137,484	126,832
5 自己資本比率 (%)	10.03	10.76
6 Tier I 比率	5.51	6.09

リスクアセットの減少(1兆円強)により、自己資本比率は0.73%上昇

【単体】		億円
		H13/3期
1	退職給付債務残高 (期首)	2,128
2	(割引率)	3.5%
3	年金資産時価総額 (期首)	1,330
4	退職給付引当金 (期首)	230
5(1-3-4)	会計基準変更時差異	568
6	信託設定による処理額	-
7(5-6)	要償却残高 (期首)	568
8	うち当期の償却額	113
9	(償却年数)	5
10(7-8)	要償却残額 (当期末)	454

今期、113億円を処理
(特別損失に計上)

ROE

【単体】	A	B	C(B-A)
	H12/3期	H13/3期	増減
1 信託償却前業務純益ベース	14.16%	21.65%	7.49%
2 当期利益ベース	4.50%	3.14%	-1.36%

ROE=(利益)÷(資本の部平残－損益尻平残)

通期見通し

		億円		
【単体】		A	B	C(B-A)
		H13/3期	見込 H14/3期	増減
1	信託勘定償却前業務粗利益	3,428	3,250	-178
2	信託勘定不良債権処理 (△)	377	400	23
3	経費	1,784	1,750	-34
4	一般貸倒引当金繰入金額	-7	0	7
5(1-3-4)	信託勘定償却前業務純益	1,651	1,500	-151
6(5-2)	業務純益	1,273	1,100	-173
7	銀行勘定不良債権処理 (△)	1,433	300	-1,133
8	経常利益	538	500	-38
9	当期純利益	239	260	21



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により、目標対比異なる可能性があることにご留意下さい。